第24回

エコメッセ2019inちば

実施報告書

テーマ「みんなで取り組むSDGs（エスディージーズ）」

エコメッセちば実行委員会では昨年に引き続き「2030年までに世界を変革しよう」という国連の持続可能な開発目標《SDGs》を環境の視点を軸としてとらえ、今年のテーマを「みんなで取り組むSDGs」としました。

《SDGs》が、わたしたちの暮らしとどのように結びついているのか。SDGsに取り組んでいる市民団体・大学・企業・行政とともに、シンポジウムの開催やパネル展示などを通して紹介しました。

2020年1月

エコメッセちば実行委員会

つながれ　ひろがれ　エコメッセ

エコネコ©つやまあきひこ

「SDGsの木・年表をつくろう」

エコメッセちばの活動は、SDGsの達成に向けた取り組みそのものです。SDGsとの関わりを考え、具体的な取組みへの意識を深めるため、全ての出展団体の方々には、自らの決意を17色のカードに書いてSDGs年表に貼ってもらい、2030年に向けた未来図をみんなで描きました。

SDGsの成果は、21世紀を生き抜く子供たちにとって特に重要です。来場した子どもたちは、実際にそれに取り組む出展団体の活動を見学し、SDGsへの思いを風船に込めて、経済、環境、社会、平和、パートナーシップが織りなすSDGsの木を創作しました。

「エコカー展示・試乗会」

トヨタ、ホンダ、日産車の展示・試乗会。
幕張メッセ1周2kmの試乗会は、注目のトヨタのFCV(燃料電池自動車)と日産のEV(電気自動車)と2車種あり、試乗希望の予約がいっぱいに!

同じ会場でFCVとEVを比較しながら乗れるなんてラッキーでした。滑るように静かな走り、幕張メッセ周辺の道路でストップ&ゴーを繰り返してもスムーズでした。EVは台風の大停電の時に電源でも話題になっていたので、いい体験でした。
白井市　福田さん（30代）

「フードドライブ」

食品ロスはもったいない。昨年に引き続き、来場者のみなさまに「ご家庭で眠っている食品」をご持参いただけるように呼びかけました。

提供いただいた食品の総重量は20.9kgで、乾麺・缶詰・お茶・レトルトパックなどが集まりました。ご協力ありがとうございました。集まった食品は、フードバンクちば様のご協力を得て、地域の福祉団体等へ提供されました。

お陰様で今回もたくさんの市民の皆さまからのあたたかな御寄贈を頂戴いたしました。とくにガールスカウトの皆さんをはじめ小さなお子さんが持ってきてくれたのも印象的でした。身近な環境問題としてのフードロスへの関心の高さも実感する場となりました。ありがとうございました。
フードバンクちば様

「東京SDGs吹奏楽団」

東京SDGs吹奏楽団は、約30名のプロフェッショナルの吹奏楽団で、JICA東京の広報を担い、JICA主催・共催での演奏や依頼演奏などの活動を行っています。

今回はSDGsゴール⑭「海の豊かさを守ろう」をテーマに海にまつわる曲を演奏していただきました。

「COOL CHOICE」

温暖化防止のための賢い選択とは？
千葉市の協力で設置したCOOL CHOICEブースではCO2削減がどのように快適な生活につながるかを考えました。

COOL CHOICEへの賛同呼びかけには82人の来場者が登録しました。

「食エコレシピ」

昨年に引き続き、みなさまからの食エコレシピを募集しました。その結果、「出汁パックのふりかけ」や「炊飯器で簡単！紅茶ケーキ」など、おいしい料理のレシピを応募いただきました。応募レシピは、消費者庁にも紹介しました。

「千葉市こども農業PR隊」

千葉市でつくった野菜を「千葉市こどもPR隊」が販売しました。こども達が作った手書きのチラシを会場内で配布していました。この売り上げは、千葉市災害支援に寄付されました。

エコメッセに行って、地域との関わりが持てました。私は販売の時にはっきり声を出して宣伝することができました。また、エコステージでは千葉の野菜のいいところを分かりやすく丁寧に発表することができました。これからも、もっと地域と関わっていきたいです。

私は、このワークショップでいつもいっしょに学ぶことができない仲間と協力することができました。また、エコメッセで野菜を売り切ったときには、とても達成感があり、とてもうれしかったです。

「エコステージ」

着物リメイクショー、オール千葉おもてなし隊トークショー、野口健氏トークショーの他、出展団体の活動発表などが行われました。

（発表団体）

＊つかいまわし工房グループ
＊「オール千葉おもてなし隊」トークショー
＊日本森林瑜伽養生館
＊公益財団法人日本生態系協会
＊アサヒビール(株)
＊千葉県立大網高等学校 組織培養部
＊千葉県立大網高等学校 食品工業科・食品科学科 食品化学部
＊(株)Eプラン
＊谷貝鐵工所
＊パワーシフトキャンペーン運営委員会
＊千葉県環境大使 野口健さんによるトークショー
＊千葉市こども企画課 こども農業PR隊
＊メジカラネット

「オール千葉おもてなし隊」トークショー

アップアップガールズ（2）の鍛治島 彩さんなどが来場し、東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県の“おもてなし”の取組「オール千葉おもてなし隊」をPR！

トークショー後も各ブースを回って、出展者との交流を行っていました。

「富士山から日本を変える」千葉県環境大使 野口 健氏トークショー

千葉県環境大使の野口 健さんによるトークショーを開催。
お相手は Bayfm「LOVE OUR BAY」でおなじみの西本淑子さん。トークショーの様子は「LOVE OUR BAY」で10月28～31日にオンエアされました。

「7大陸最高峰世界最年少登頂記録を樹立されたお話や、エベレストと富士山の根深いゴミ問題などわかりやすくお話しくださり、お客様も興味深そうに聴いてくださったのが印象的です」

パーソナリティ 西本淑子さん

JICA海外協力隊と巡る「世界のゴミ問題」

202室の10:30～12:30まで、JICA海外協力隊環境教育OV会主催でワークショップが行われました。

＊実施回数：計3回
＊参加人数：約75名
（約25名 / 回）

【参加者の声】

日本にあるゴミ処理場の数の多さには驚いた（10代）

子ども達も、大人の私にも分かりやすくて勉強になった（30代）

世界全体でゴミ問題に取り組む必要があると感じた（60代）

クイズや体験談を交えた発表内容で、参加者からのアンケート結果は好評でした。

「ちばSDGsフォーラム」～私が取り組むSDGs～

202室の13:30～15:30まで、(特非)環境パートナーシップちば主催で開催されました。会場は、学生、行政、企業、市民団体など50名強の参加者で満席でした。

講演：石井 雅章氏(神田外語大学准教授)
「SDGsを自分ごと化するための工夫」
SDGsの概要と演題についての説明

事例紹介：

- 木村 由佳氏(元青年海外協力隊)「途上国での環境教育」
- 遠藤 美映氏(合同会社HANA代表社員兼BSC実行委員会理事)「ベイタウン・SDGs・クリエーションの活動」
- 手塚 幸夫氏（房総野生生物研究所）「いすみ市での生物多様性の主流化とSDGs」

参加者は、多様な立場でのSDGsへ取り組みをお聞きし、自分事として取り組むヒントを見つけられたようです。

「オリンピック・パラリンピック競技体験」

2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、千葉県で開催される8競技のパネル展示や、5種類の競技体験を行いました。

（ブース出展：千葉県）

ゴールボール

VRフェンシング

スマートフェンシング

センサー付のジャケットで正確に判定。これは面白い。
千葉市稲毛区　長谷さん

競技の一部であっても体験できて良かった。試合の見方も変ります。
八千代市　佐久間さん

ボッチャ

判定がハッキリしていて、子供から大人まで楽しめそうな競技。面白かった。
市川市　井上さん

ルールがシンプルなのに、逆転があって面白かった。
千葉市美浜区　藤原さん

サーフィン

車いすバスケットボール

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

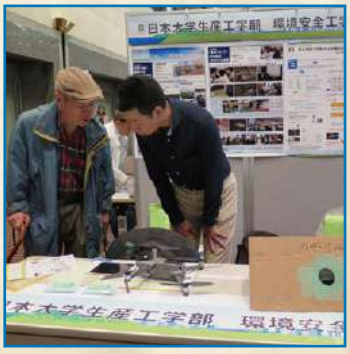
11 住み続けられるまちづくりを

SDGsは誰にでもどのような形でも
取り組むことができます。
そして、取り組まなくてはいけません。
"あなた" に取り組んでほしいです。

千葉商科大 商経学部 経営学科　3年
学生団体SONE(自然エネルギー達成学生機構) 代表 内山さん

室蘭市で行われているPCB
廃棄物処理について、期限内処理に
向けたパネル展示の他、約1,400名もの方に
アンケートをお答えいただいたとともに、
他の出展者の方とも交流ができ、
とても有意義な時間でした。

室蘭市経済部産業振興課　佐々木主査



出展団体一覧（SDGs17の目標別）

主な目標として掲げた団体数（その他の目標として掲げた団体数）　（順不同・敬称略）

1. 貧困をなくそう　3団体（13団体）

▽認定NPO法人アクセス▽（特非）JFSA▽JICA東京

2. 飢餓をゼロに　0団体（6団体）

3. すべての人に健康と福祉を　12団体（11団体）

▽（株）ヤマト▽（特非）ふれあいハウス▽タバコ問題を考える会・千葉（TMKC）▽生活協同組合 パルシステム千葉▽（特非）タオ▽ソーケングループ＆エコ窓普及促進会＆日本自動ドア▽Earth Citizens TOKYO▽メジカラネット▽（福）あかね ワークアイ・船橋▽日本森林瑜伽養生館▽前向き闘病の会▽（一財）千葉県環境財団

4. 質の高い教育をみんなに　5団体（19団体）

▽千葉工業大学 分子生態工学研究室▽千葉工業大学 文化会環境科学研究会▽植草学園大学 学生団体 共生の森人▽アクティオ（株）千葉市子ども交流館▽幕張ベイタウンにエコパークをつくる会

5. ジェンダー平等を実現しよう　1団体（4団体）

▽獨協大学高安健一ゼミ（エシカルチーム）

6. 安全な水とトイレを世界中に　6団体（10団体）

▽（一社）千葉県産業資源循環協会▽（株）カワイチ・テック with（有）水都環境▽千葉県浄化槽団体連絡協議会▽（株）Eプラン▽機動洗車隊▽千葉市環境保全部環境保全課

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに　12団体（16団体）

▽（一社）日本プラスチック食品容器工業会▽（有）エムエスイー▽日本製鉄（株）君津製鉄所▽パワーシフトキャンペーン▽房総ガス協議会▽（一社）千葉県環境保全協議会▽（有）ワイピーシー▽千葉市環境保全部環境保全課▽（株）コープサービス葬祭事業部 コプセ案内センター▽自然エネルギーを広めるネットワークちば（RENET）▽千葉市環境保全部環境保全課（屋外）▽千葉日産自動車（株）（屋外）

8. 働きがいも経済成長も　0団体（6団体）

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう　2団体（9団体）

▽（株）テクノリライブ▽千葉県立大網高等学校

10. 人や国の不平等をなくそう　2団体（9団体）

▽PRIYO handicrafts▽（福）オリーブの樹 オリーブハウス

11. 住み続けられるまちづくりを　9団体（18団体）

▽坪井湿地を復活する会▽（特非）ハロハロ▽日本エコトイ協会/エコトンボの会▽NPO法人いすみライフスタイル研究所▽千葉県県土整備部公園緑地課▽市民エネルギーちば（株）▽千葉県企業局総務企画課▽フェアトレードちば▽（株）トータルメディア研究所▽千葉県立中央博物館

12. つくる責任つかう責任　15団体（18団体）

▽つかいまわし工房グループ▽（一社）ガールスカウト千葉県連盟なのはな会▽ライオン（株）千葉工場▽千葉県環境生活部廃棄物指導課・室蘭市・JESCO▽千葉県消費者センター▽生活協同組合コープみらい▽イオン（株）▽花王グループカスタマーマーケティング（株）▽千葉商科大学▽千葉市生活文化スポーツ部消費生活センター▽環境学生団体emfactory▽アサヒビール（株）パッケージング技術研究所▽生活クラブ生活協同組合・千葉▽山崎製パン（株）千葉工場

13. 気候変動に具体的な対策を　13団体（21団体）

▽（資）谷貝鐵工所▽千葉市地球温暖化対策地域協議会▽ちば環境再生県民の会▽（一社）千葉県木材振興協会▽千葉県環境生活部循環型社会推進課・大気保全課▽千葉県環境生活部循環型社会推進課▽千葉県農林水産部森林課▽（特非）環境カウンセラー千葉県協議会▽ヤマ吉▽千葉県温暖化防止活動推進センター/千葉県地球温暖化防止活動推進員▽関東地域エネルギー・温暖化対策推進会議▽千葉市こども未来部こども企画課▽千葉県・千葉市・九都県市・千葉トヨタ自動車（株）・千葉トヨペット（株）（屋外）

14. 海の豊かさを守ろう　9団体（18団体）

▽フィールドミュージアム・三番瀬の会▽千葉工業大学 社会生態工学研究室▽千葉県環境生活部環境政策課▽千葉県環境生活部水質保全課▽三番瀬写真展実行委員会▽学生団体おりがみ環境チーム▽東京湾の環境をよくするために行動する会▽日本大学生産工学部 環境安全工学科▽ちば河川交流会

15. 陸の豊かさを守ろう　12団体（25団体）

▽風呂の前里山保存会▽千葉県環境生活部自然保護課 生物多様性センター▽千葉県環境研究センター企画情報室▽千葉県農林水産部安全農業推進課▽ちば里山センター▽（特非）ちば森づくりの会▽千葉県里山林保全整備推進地域協議会▽（公財）日本生態系協会▽（特非）知的コミュニケーション研究機関連合▽（公財）イオン環境財団▽（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門▽千葉県立松戸南高等学校科学研究部

16. 平和と公平をすべての人に　3団体（13団体）

▽Radhika Japan（ラディカ ジャパン）▽なのはな生活協同組合▽千葉県冒険遊び場ネットワークChiba Bo!

17. パートナーシップで目標を達成しよう　9団体（16団体）

▽千葉県環境生活部水質保全課・県土整備部河川環境課▽千葉県環境生活部県民生活・文化課▽千葉大学環境ＩＳＯ学生委員会▽（株）シーボン▽（特非）環境パートナーシップちば▽千葉県立長生高等学校 サイエンス部▽エコテスト（株）▽（株）シール堂印刷▽千葉県商工労働部観光企画課

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

出展数・来場者数の推移

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019年度	
出展団体数	120	120	140	137	118	112	100	96	111	113	企業 33 市民活動団体 41 行政 26 大学・高校 7 学生団体 6
出展ブース数（実行委員ブースは除く）	206	180	200	220	208	171	155	133	166	166	
来場者数（人）	10,500	12,000	12,000	10,200	12,000	12,000	8,500	8,000	9,000	10,500	

いいねシールラリー集計結果

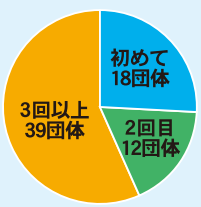
来場者に「いいね!」と思ったブースを選んでもらい、シールを貼っていただきました。「いいね!」シールの多かった出展団体は以下のとおりとなりました。（総数680票）

ライオン（株）千葉工場
千葉市こども未来部こども企画課
花王グループカスタマーマーケティング（株）
植草学園大学 学生団体 共生の森人
千葉県環境生活部水質保全課

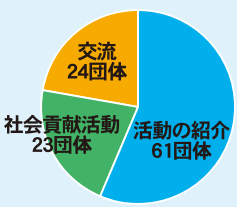
出展者アンケート集計結果

回答数：69団体

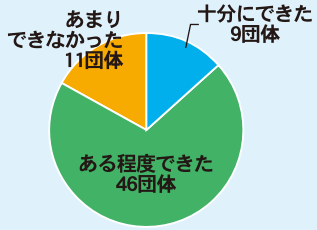
出展回数



出展の目的



出展者間の交流



自由意見

- ブース配置を検討して欲しい。
- コンベンションとホワイエで人の流れの違いがあると感じた。
- ゾーンに分けるなどの工夫が欲しい。
- SDGsは継続希望。
- 昼食コーナーがもう少しあると良い。
- かなり広範なテーマで市民団体が集まっていると感じた。
- 思った以上に若者（こども含む）の来場で、楽しかった。

「エコメッセ 2019 in ちば」開催のお礼

2019 年 10 月 20 日（日）の「エコメッセ 2019 in ちば」にご来場・ご出展、ご協力、ご協賛を賜りまことにありがとうございました。子どもから大人まで、10,500人のご来場をいただき、また SDGsのテーマのもと、多様な方の交流の場ともなり、盛況に開催することが出来ました。

当日は実行委員はじめ、高校生・大学生・企業・市民の方 92人のボランティアのお手伝いもいただき、またスタンプラリーなどに配布する景品のご提供をいただくなど、様々なご支援をいただきました。厚くお礼申し上げます。

エコメッセちばの開催が、環境を軸として多様な主体の方々との連携を通して、持続可能な社会づくりのお手伝いができればと思います。

「エコメッセ 2020 in ちば」は、2020 年 11 月 1 日（日）幕張メッセで開催します。皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

2020 年 1 月
エコメッセちば実行委員長　桑波田 和子

「エコメッセ 2019 in ちば」実行委員

役　割	氏　名	所属（会社・団体名称）
委員長	桑波田 和子	（特非）環境パートナーシップちば代表
副委員長	能條 靖雄	千葉県環境生活部循環型社会推進課長
副委員長	田谷 徹郎	（一財）千葉県環境財団理事長
副委員長	秋山 智博	千葉市環境局環境保全課担当課長
副委員長	岩津 由雄	（一社）千葉県経済協議会専務理事
会計監査	木村 秀雄	（一社）千葉県産業資源循環協会専務理事
会計監査	鳥海 浩之	（株）千葉興業銀行
企画部	吉田 謙二	スマートビーンズ（株）
企画部	柏 靖博	個人
企画部	石田 晶久	NPO法人 森林デザイン研究所
企画部	福満 美代子	NPO法人 ちば環境情報センター
企画部	奥山 淳梓	（特非）環境パートナーシップちば
企画部	大後 宇生	学生団体おりがみ
企画部	唐橋 幸佑	学生団体おりがみ
広報･交流部	中西 広充	中西ファーム
広報･交流部	KOUSAKU	まるごみＪAPAN
広報･交流部	高橋 賢治	ワンアップ・アド・システム（株）
広報･交流部	藤平 翔大	千葉県環境生活部循環型社会推進課
広報･交流部	澤 祥平	千葉市環境保全課温暖化対策室
広報･交流部	斎藤 清	（特非）環境パートナーシップちば
広報･交流部	茂木 昌克	GONET
広報･交流部	谷合 哲行	（株）テクノリライブ
広報･交流部	中岡 丈恵	ちば環境再生県民の会・つかいまわし工房
広報･交流部	鈴木 政幸	生活協同組合コープみらい
広報･交流部	斉藤 則俊	（一社）千葉県環境保全協議会
事務局	宮下 朝光	認定 NPO法人 太陽光発電所ネットワーク千葉
事務局	山田 多恵子	（特非）環境パートナーシップちば
事務局	横山 清美	（特非）環境パートナーシップちば
事務局	山口 幸一	（一財）千葉県環境財団
事務局	戸谷 恭子	（一社）ガールスカウト千葉県連盟
事務局	岸田 有紀	（一社）ガールスカウト千葉県連盟
事務局	望月 靖子	（株）アイ・ティー・オー
実行委員	内山 真義	（特非）環境パートナーシップちば
実行委員	秋葉 京子	（一社）ガールスカウト千葉県連盟
実行委員	橋本 正	NPO法人 環境カウンセラー千葉県協議会
実行委員	小田川 和恵	千葉県生活協同組合連合会
実行委員	鈴木 博司	東京ガス（株）千葉支社
実行委員	河原崎 滉一郎	個人
実行委員	江崎 亮	NPO法人 いすみライフスタイル研究所
実行委員	梶原 誠	WAcKA

運営委員会に参加してくれた学生団体「おりがみ」の感想

オリ･パラ競技体験コーナーなどを中心にエコメッセちばの運営に協力を申し出てくれたのは「千葉大・おりがみ」チーム。
<おりがみ>は、2020東京オリンピック・パラリンピックを学生みんなで盛り上げ、多くの人がかかわる機会を創ろうと活動する学生団体。　<**オリ**ンピック・**が**くせい・**み**んなで>

その「千葉大・おりがみ」の環境チーム
理学部２年 大後宇生(だいご たかお)さん

「これほどたくさんの団体と一緒に参加したのは初めて。みなさんがさまざまなジャンルで地道に環境活動を続けられているのを知って貴重な体験になりました」

「エコメッセ 2019 in ちば」の開催にあたり、市民・大学・企業・行政など、総勢 92人のボランティアの方々にご協力を頂きました。この場をお借りして、お礼申し上げます。

会場入口でプログラムを配布

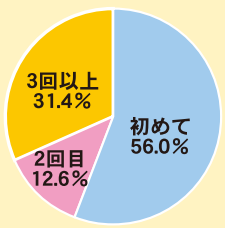
ご報告

エコメッセでは、令和元年台風15号で甚大な被害に遭われた地域の一日も早い復旧・復興を願い、来場のみなさまにご協力をお願いしました。
集まった 13,031円は、
「ちば台風15号災害支援基金」
（(公財)ちばのWA地域づくり基金）
を通して、被災地における支援活動を支えます。

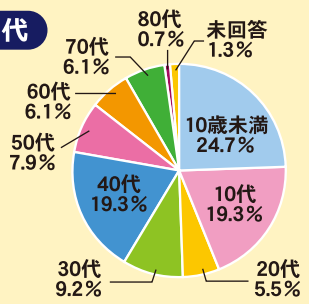
来場者アンケート集計結果

来場者にご回答いただいたアンケートの主な結果は以下のとおりです。（配布1,200枚、回収681枚）

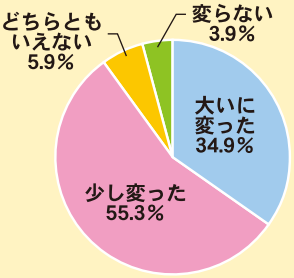
来場回数



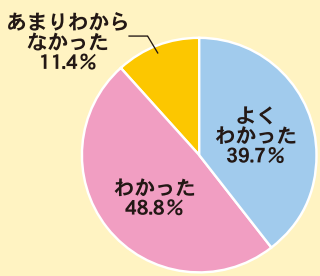
年代



環境に対する意識変化



SDGs 理解度



アンケートへのご協力をありがとうございました。この結果を参考に、参加者・出展者ともに満足感・達成感が得られるような「エコメッセ 2020 in ちば」にするため、ご協力をよろしくお願いいたします。

自由意見

- ブースの区切りが分かりづらかった。
- 規模が大きいので、千葉以外の出展団体がもっと増えたらいい。
- オリパラの体験がとても楽しかった。
- 出展者が多く、つかれた。しぼったほうがよい。
- 飢餓について知ることが出来た。
- 子供たちにSDGsの事を広める良いイベントだと思う。

2020年度、エコメッセちば開催決定！

第25回 エコメッセ2020inちば

2020年11月1日(日)　入場無料　10:00～16:00

会場：幕張メッセ国際会議場
主催：エコメッセちば実行委員会

2020年4月よりWEBにて↓出展団体募集開始！

https://ecomesse.com

「エコメッセ 2019inちば」広報活動報告

＊チラシ　20,000部作成（市役所、図書館、公民館、主要駅の県政ふれあいコーナー、北総鉄道16駅、県内市民活動サポートセンター 、県内の中学・高校・専門学校・大学 など）

＊ポスター　500部作成（市役所、県内市民活動サポートセンター、バス協会、北総鉄道4駅、千葉都市モノレール、県内の中学・高校・専門学校・大学 など）

＊メディア　bayfm：LOVE OUR BAY、ラジオCM、タイムテーブル掲載
千葉テレビ、千葉日報、読売新聞、毎日新聞、朝日新聞、
月刊ぐるっと千葉(10月号)、ママともぷらす(9･10月号)、
千葉銀広報誌「ラウンジ」(6月末号)、朝日新聞「マリオン」など

＊協 力　千葉県：県民だより、県ホームページ、県広報ラジオ番組、県広報テレビ番組、広報コーナー
千葉市：広報誌、広報番組
幕張メッセ：施設大型ビジョン、場内ポスター、チラシ掲示
その他：NPO法人千葉自然学校、コープみらい、JICA など

＊PR イベント　千葉県国際交流センターフェスタ CHIBA、千葉市市民活動センター「ボランティア･市民活動マッチングプログラム2019」、船橋市環境活動パネル展、ふなばし市民活動フェア

これまでの「エコメッセちば」テーマ一覧

1996：みんなでつくるエコメッセ。ちばの幕張新都心全域で、日本初の環境のためのおまつりがはじまるよ！
1997：環境活動見本市。千葉の幕張新都心全域で、2回目の環境をテーマにしたおまつりがはじまるよ!!
1998：ちばが変わる　地球も変わる
1999：地球人みんなのエコロジーフェスティバル！
2000：エコメッセで暮らしを変えよう～生物多様性と地球温暖化～
2001：環境のお祭りだよ みんなでつくろう・楽しもう
2002：地球温暖化防止のために木を植えよう！（第54回全国植樹祭協賛）
2003：みんな元気に！楽しく！環境の輪！
2004：恐竜は・・・私たちは資源循環型社会をめざす
2005：エコメッセちば 10周年
めざせ、資源循環型社会～熱っぽいちば、アイスる地球～
2006：めざせ、持続可能な社会～楽しく 賢く エコライフ～
2007：めざせ、持続可能な社会～楽しく 賢く エコライフ～
2008：地球温暖化防止と生物多様性の保全～めざせ、持続可能な社会～
2009：地球温暖化と生物多様性～エコメッセでくらしを変えよう
2010：地球人みんなのエコロジーフェスティバル!
2011：環境と経済「ちば最大の環境活動見本市」
2012：つながれ、ひろがれ、エコメッセ「ちば最大の環境活動見本市」
2013：つながれ、ひろがれ、エコメッセ
2014：イマを知ろう ミライをつくろうこども博覧会
2015：エコっておもしろい
2016：みつけよう私の COOL CHOICE
2017：進め COOL CHOICE！
2018：ちばから発信 SDGs
2019：みんなで取り組む SDGs

協賛いただいた団体・企業

▽BSC実行委員会▽(一社)千葉県産業資源循環協会
▽(一社)千葉県経済協議会▽東京ガス(株)千葉支社▽千葉銀行
▽京葉銀行▽千葉興業銀行▽生活協同組合コープみらい
▽千葉県生活協同組合連合会▽(株)ベイエフエム
▽(一社)千葉県環境保全協議会

協力いただいた団体・企業

▽(株)幕張メッセ▽北総鉄道(株)▽(一社)ガールスカウト千葉県連盟▽(一社)千葉県バス協会▽ママともぷらす▽千葉銀行
▽(公社)千葉市観光協会▽月刊ぐるっと千葉▽千葉市民活動支援センター▽フードバンクちば▽PV-Net千葉▽学生団体おりがみ
▽千葉工業大学▽(一社)千葉県トラック協会▽千葉県障害者スポーツ･レクリエーションセンター▽オーガニックレストランカムー
▽東葉建設(株)▽山崎製パン(株)千葉工場▽大日本印刷(株)▽(株)シール堂印刷▽千葉県中央博物館▽(一社)千葉県環境保全協議会
▽(株)カワイチ･テックwith(有)水都環境

後援いただいた団体・企業

▽環境省関東地方環境事務所▽千葉県教育委員会▽千葉市教育委員会▽(一社)千葉県商工会議所連合会▽千葉商工会議所▽市原商工会議所
▽千葉県商工会連合会▽(公社)千葉市観光協会▽幕張新都心まちづくり協議会▽(株)幕張メッセ▽読売新聞千葉支局▽千葉日報社
▽朝日新聞社千葉総局▽毎日新聞社千葉支局▽東京新聞千葉支局▽日本経済新聞社千葉支局▽産経新聞社千葉総局▽時事通信社千葉支局
▽共同通信社千葉支局▽千葉県ケーブルテレビ協議会▽(株)ベイエフエム▽JICA東京

エコメッセちば実行委員募集中！
あなたも一緒にエコメッセを盛り上げませんか？

エコメッセちば実行委員会事務局

〒260-0024　千葉県千葉市中央区中央港１－１１－１
(一財)千葉県環境財団 業務部 環境活動支援課気付
エコメッセちば実行委員会事務局
電話：080-5374-0019　FAX：043-247-4152
E-mail：info@ecomesse.com　HP：https://www.ecomesse.com

エコメッセで使う電力は太陽光で作られるグリーン電力です！
グリーン電力証書発行：太陽光発電所ネットワーク

「エコメッセ 2019 inちば」は、ちば環境再生基金「環境活動見本市等普及啓発支援事業」の助成を受けて実施しました。

ちば環境再生基金マスコット「ちば犬」